

令和元年度

盛岡地域県立病院運営協議会

日 時 令和2年1月20日（月）

15：00～

場 所 県立中央病院4階大ホール

～ 次 第 ～

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 職員紹介
- 4 会長あいさつ
- 5 開催病院長（県立中央病院長）あいさつ
- 6 医療局長あいさつ
- 7 議 事
 - (1) 岩手県立中央病院の現状と課題について
 - (2) 岩手県立中央病院及び附属地域診療センターの経営状況について
 - (3) その他
- 8 質 疑
- 9 閉 会

盛岡地域県立病院運営協議会委員

	区 分	職 名	氏 名	備 考
1	市町村	盛岡市長	谷藤 裕明	
2	市町村	岩手町長	佐々木 光司	
3	市町村	紫波町長	熊谷 泉	
4	学識経験者	岩手県議会議員（盛岡選挙区）	千葉 絢子	
5	学識経験者	岩手県議会議員（盛岡選挙区）	高橋 但馬	
6	学識経験者	岩手県議会議員（盛岡選挙区）	軽石 義則	
7	学識経験者	岩手県議会議員（八幡平選挙区）	千葉 伝	
8	学識経験者	岩手県議会議員（紫波選挙区）	臼澤 勉	
9	医療関係団体	一般社団法人 盛岡市医師会 会長	和田 利彦	
10	医療関係団体	一般社団法人 岩手西北医師会 会長	高橋 邦尚	
11	医療関係団体	一般社団法人 紫波郡医師会 会長	木村 宗孝	
12	医療関係団体	一般社団法人 岩手県歯科医師会 専務理事	大黒 英貴	
13	医療関係団体	盛岡薬剤師会 会長	西野 豊	
14	医療関係団体	公益社団法人 岩手県看護協会 会長	及川 吏智子	
15	関係行政機関	岩手県県央保健所 所長	田名場 善明	
16	関係行政機関	盛岡市保健所 所長	高橋 清実	
17	関係行政機関	盛岡地区広域消防組合消防本部 警防課長	中村 義昭	
18	関係行政機関	岩手町保健推進員協議会 会長	竹田 裕子	
19	社会保険団体	盛岡市国民健康保険運営協議会 会長	村田 芳三	
20	社会保険団体	紫波町国民健康保険運営協議会 会長	松坂 みき子	
21	社会福祉関係団体	社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会 会長	川村 裕	
22	婦人団体	もりおか女性の会 会長	柴崎 一恵	
23	婦人団体	岩手町婦人団体連絡協議会 会長	大坊 邦子	
24	婦人団体	紫波町連合婦人会 会長	佐々木 玲子	
25	その他	アイリスの会 会長	鈴木 俊子	

目 次

1	盛岡保健医療圏内県立病院群の一体的運営の状況	1
(1)	県立病院群の機能分担・連携	1
(2)	県立病院群の一体的・効率的運営に向けた取り組み状況	1
(3)	中央病院からの診療応援状況	1
2	盛岡保健医療圏内県立病院群の医療資源等の状況	2
(1)	診療科及び医師数の状況	2
(2)	基本的機能等	3
(3)	部門別常勤職員数	3
3	盛岡保健医療圏内県立病院群の患者数	4
(1)	診療科別1日平均患者数	4
	入院	4
	外来	5
(2)	1日平均入院患者数の推移	6
	うち新入院患者数	6
(3)	病床利用率と平均在院日数の推移	7
(4)	1日平均外来患者数の推移	8
	うち新外来患者数	8
(5)	紹介率・逆紹介率の推移	9
4	盛岡保健医療圏内県立病院群の経営収支の推移	10
5	盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況	12
6	盛岡保健医療圏内救急患者数状況	13
(1)	救急患者数状況	13
(2)	救急車搬送状況	13
7	3施設の事業運営方針等	15
(1)	中央病院	15
(2)	沼宮内地域診療センター	19
(3)	紫波地域診療センター	20
8	平成30年度岩手県立病院等事業会計決算概要	21

1 盛岡保健医療圏内県立病院群の一体的運営の状況

(1) 県立病院群の機能分担・連携

◇ 中央病院

急性期高機能センター病院として、盛岡医療圏はもとより岩手県全域を対象とした、先進・高度・特殊医療機能を提供しているほか、基幹型臨床研修指定病院として、教育・研修機能・医療情報機能を併せ持ち、加えて、地域の病院や診療所に対して診療応援を行うなど県立病院の中心としての役割を担う。

◇ 中央病院附属紫波地域診療センター

センター病院(中央病院)等の支援を得ながら、紫波地域のプライマリーケア(初期医療)や慢性期医療を担う。

◇ 中央病院附属沼宮内地域診療センター

センター病院(中央病院)等の支援を得ながら、沼宮内地域のプライマリーケア(初期医療)や慢性期医療を担う。

(2) 県立病院群の一体的・効率的運営に向けた取り組み状況

圏域の業務(材料等の共同調達、検体検査業務、滅菌業務、外部業務、経理、委託等)をセンター病院(中央病院)に集約し、効率的な運営を図っている。

また、医師や他の職種の診療センター等への診療応援・業務応援を安定的に行っている。

※ 以下の表及びグラフについては、「中央病院附属紫波地域診療センター」を「紫波センター」と表示する。

※ 以下の表及びグラフについては、「中央病院附属沼宮内地域診療センター」を「沼宮内センター」と表示する。

(3) 中央病院からの診療応援状況

(単位:件) 【参考】 (単位:件)

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
県立病院	2,565	2,021	2,333	2,403	2,778
うち紫波センター	28	24	24	23	24
うち沼宮内センター	246	255	294	303	197
うち長期応援	1,277	304	730	881	1,580
市町村立病院等	770	636	763	764	934
合計	3,335	2,657	3,096	3,167	3,712

区分	元.11月累計
県立病院	1,841
うち紫波センター	17
うち沼宮内センター	84
うち長期応援	1,006
市町村立病院等	486
合計	2,327

2 盛岡保健医療圏内県立病院群の医療資源等の状況

(1) 診療科及び医師数の状況（令和元年11月1日現在）（単位：人）

区分	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	計
内科		2	1	3
血液内科	4			4
総合診療科	3			3
糖尿病・内分泌内科	3			3
腎臓・リウマチ科	8			8
精神科	1			1
脳神経内科	4			4
呼吸器内科	4			4
消化器内科	6			6
循環器内科	8			8
小児科	5			5
外科	1	1	1	3
乳腺・内分泌外科	3			3
消化器外科	10			10
整形外科	4			4
形成外科	1			1
脳神経外科	5			5
呼吸器外科	3			3
心臓血管外科	4			4
小児外科	1			1
皮膚科	3			3
泌尿器科	4			4
産婦人科	6			6
眼科	2			2
耳鼻咽喉科	2			2
リハビリ科	1			1
放射線科	5			5
歯科口腔外科	3			3
ペインクリニック科	1			1
がん化学療法科	1			1
麻酔科	9			9
ICU科	2			2
臨床検査科	1			1
病理診断科	4			4
シニアレジデント	22			22
小計	144	3	2	149
2年次研修医	12			12
1年次研修医	20			20
小計	32	0	0	32
合計	176	3	2	181

※現員報告から（兼務発令・
他病院への研修等は除く）

(2) 基本的機能等(令和元年11月1日現在)

区分	施設 類型	病床数(床)			救急医療			特殊診療機能・器械						
		一般	結核	計	救急 告示	二次 輪番	小児 輪番	がん放 射線	理学	作業	人工 透析	MRI	CT	PET CT
中央病院	センター	685		685	○	○	○	○	○	○	○	○	高精度	○
紫波センター	診療所	0		0									○	
沼宮内センター	診療所	0		0									○	
盛岡医療圏		685	0	685										

主な医療施設基準、認定、専門外来等

中央病院	地域がん診療拠点病院、地域医療支援病院、地域災害拠点病院、臨床研修指定病院及び臨床研修機能評価認定病院、日本医療機能評価認定病院、がん看護専門外来・スキンケア専門外来・糖尿病看護専門外来、患者用図書室開設等
紫波センター	隣接する介護老人福祉施設との連携 明細書発行体制加算、検体検査管理加算1
沼宮内センター	近隣の介護老人福祉施設との連携 明細書発行体制加算、検体検査管理加算1、遠隔画像診断

(3) 部門別常勤職員数(令和元年11月1日)

正規職員 (単位:人)					臨時職員 (単位:人)				
区分	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計	
医 師	142	3	2	147	34			34	
薬剤部門	32		1	33	15		1	16	
放射線部門	33	1		34	5			5	
検査部門	36	1		37	8		2	10	
看護部門	560		1	561	187	3	4	194	
歯科衛生士	3			3	1			1	
臨床工学技士	15			15				0	
視能訓練士	5			5				0	
理学療法士	19			19				0	
作業療法士	7			7				0	
言語療法士	3			3				0	
事務部門	36	1	1	38	78	2	1	81	
医療情報管理士	2			2	2			2	
医療社会事業士	6			6	1			1	
栄養管理部門	22			22	17			17	
臨床心理士	1			1	2			2	
運転技士				0	1		1	2	
合 計	922	6	5	933	351	5	9	365	

3 盛岡保健医療圏内県立病院群の患者数

(1) 診療科別1日平均患者数(平成30年度)

(単位:人)

(単位:人)

区分	入院(H30年度)			
	中央 病院	紫波セ ンター	沼宮内 センター	計
内 科				0
血 液 内 科	32			32
総 合 診 療 科	23			23
糖尿病・内分泌内科				
腎臓・リウマチ科	37			37
精 神 科				0
脳 神 経 内 科	36			36
呼 吸 器 内 科	39			39
消 化 器 内 科	62			62
循 環 器 内 科	57			57
小 児 科	16			16
外 科				0
乳腺・内分泌外科	9			9
消 化 器 外 科	54			54
整 形 外 科	47			47
形 成 外 科	1			1
脳 神 経 外 科	28			28
呼 吸 器 外 科	11			11
心臓血管外科	24			24
小 児 外 科	1			1
皮 膚 科	5			5
泌 尿 器 科	18			18
産 婦 人 科	55			55
眼 科	5			5
耳 鼻 咽 喉 科	9			9
放 射 線 科				0
歯科口腔外科	1			1
ペインクリニック科				0
がん化学療法科	3			3
附 属 診 療 所				0
計	573	0	0	573

【参考】入院(元.11月累計)			
中央 病院	紫波セ ンター	沼宮内 センター	計
			0
38			38
9			9
8			8
37			37
			0
35			35
41			41
66			66
49			49
21			21
			0
8			8
48			48
39			39
2			2
30			30
12			12
26			26
2			2
6			6
17			17
56			56
5			5
10			10
			0
2			2
			0
4			4
			0
571	0	0	571

(単位:人)

区分	外来(H30年度)			
	中央 病院	紫波セ ンター	沼宮内 センター	計
内 科		29	36	65
血 液 内 科	44			44
総 合 診 療 科	50			50
糖尿病・内分泌内科				0
腎臓・リウマチ科	58			58
精 神 科	6			6
脳 神 経 内 科	33			33
呼 吸 器 内 科	43			43
消 化 器 内 科	100			100
循 環 器 内 科	72			72
小 児 科	45			45
外 科		7	8	15
乳腺・内分泌外科	47			47
消 化 器 外 科	49			49
整 形 外 科	50		1	51
形 成 外 科	11			11
脳 神 経 外 科	19			19
呼 吸 器 外 科	14			14
心臓血管外科	17			17
小 児 外 科	3			3
皮 膚 科	59			59
泌 尿 器 科	55			55
産 婦 人 科	86			86
眼 科	29			29
耳 鼻 咽 喉 科	30			30
放 射 線 科	134			134
歯科口腔外科	22			22
ペインクリニック科	12			12
がん化学療法科	17			17
附 属 診 療 所				0
計	1,105	36	45	1,186

(単位:人)

【参考】 外来(元.11月累計)			
中央 病院	紫波セ ンター	沼宮内 セン ター	計
	29	36	65
48			48
19			19
28			28
61			61
6			6
28			28
47			47
102			102
70		4	74
47			47
	6	4	10
48			48
49			49
44	1	1	46
11			11
22		1	23
16			16
18			18
3			3
62		4	66
57			57
87			87
29			29
31			31
144			144
27			27
11			11
20			20
			0
1,135	36	50	1,221

(2) 1日平均入院患者数の推移

(単位:人)

【参考】

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
中央病院	597	575	580	573	573
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	597	575	580	573	573
県立病院全体	3,580	3,470	3,463	3,361	3,314

区分	元.11月累計
中央病院	571
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	571
県立病院全体	3,236

うち新入院患者数

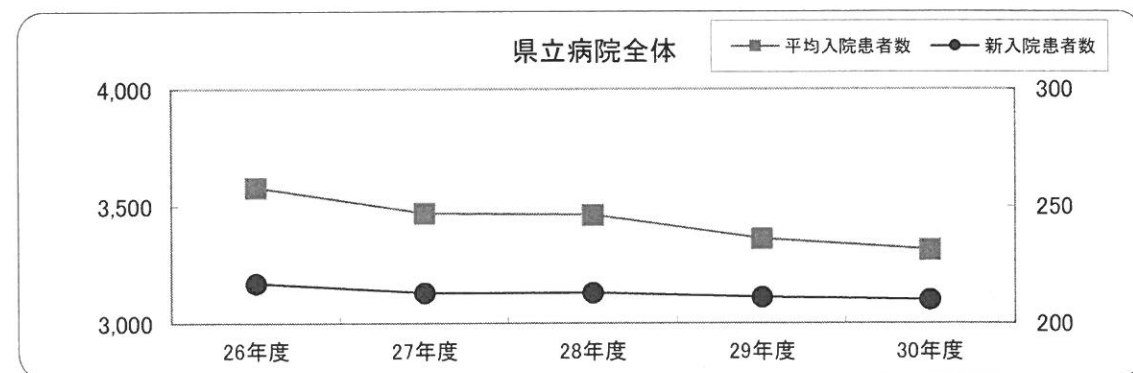
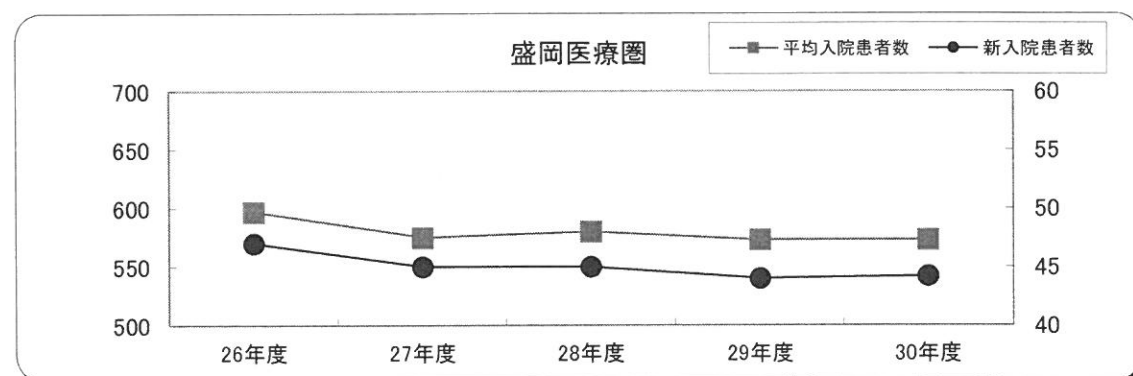
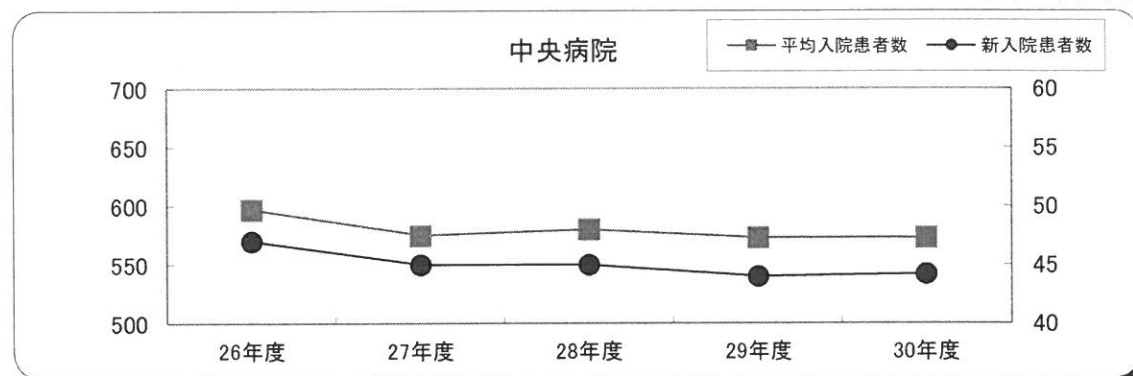
(単位:人)

【参考】

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
中央病院	47	45	45	44	44
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	47	45	45	44	44
県立病院全体	217	213	213	211	210

区分	元.11月累計
中央病院	45
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	45
県立病院全体	210

(グラフ単位:人)



(3) 病床利用率と平均在院日数の推移

病床利用率（一般）の推移

(単位:人)

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
中央病院	87.1	84.0	84.7	83.7	83.6
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	87.1	84.0	84.7	83.7	83.6
県立病院全体	67.6	65.6	66.8	65.6	66.0

【参考】

区分	元.11月累計
中央病院	83.4
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	83.4
県立病院全体	66.0

※ 数値は実稼動病床数にて算出

平均在院日数の推移

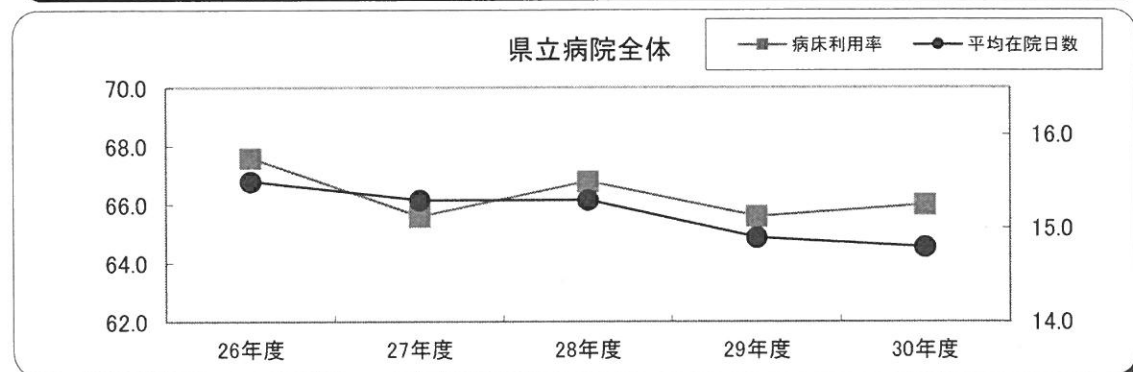
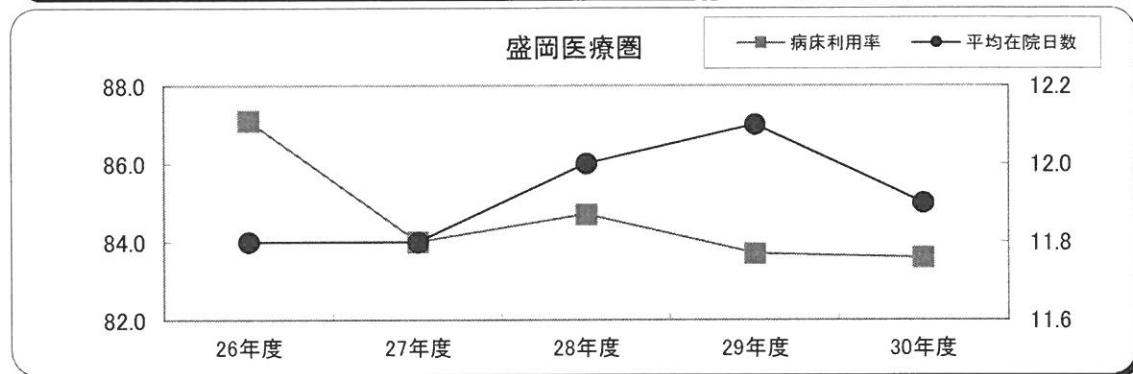
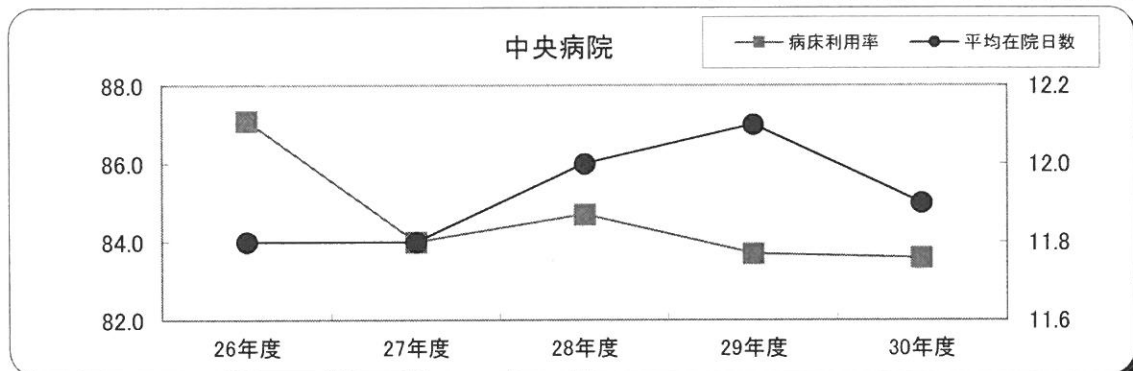
(単位:人)

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
中央病院	11.8	11.8	12.0	12.1	11.9
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	11.8	11.8	12.0	12.1	11.9
県立病院全体	15.5	15.3	15.3	14.9	14.8

【参考】

区分	元.11月累計
中央病院	11.8
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	11.8
県立病院全体	14.5

(グラフ単位:病床利用率-%、平均在院日数一日)



(4) 1日平均外来患者数の推移

(単位:人)

【参考】

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
中央病院	1,120	1,147	1,122	1,105	1,105
紫波センター	45	44	40	37	36
沼宮内センター	62	53	49	46	45
盛岡医療圏	1,227	1,244	1,211	1,188	1,186
県立病院全体	8,271	8,098	7,901	7,790	7,609

区分	元.11月累計
中央病院	1,135
紫波センター	36
沼宮内センター	50
盛岡医療圏	1,221
県立病院全体	7,572

うち新外来患者数

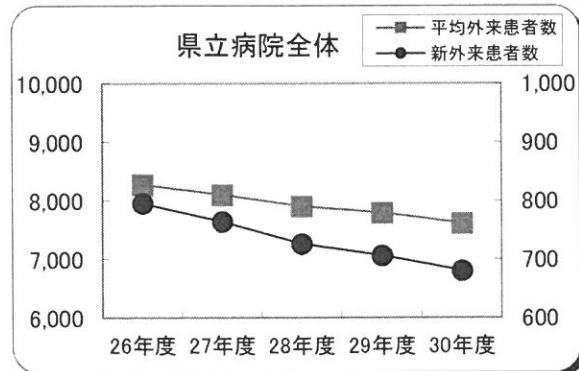
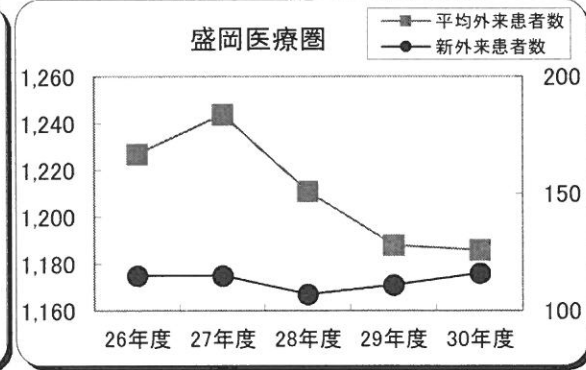
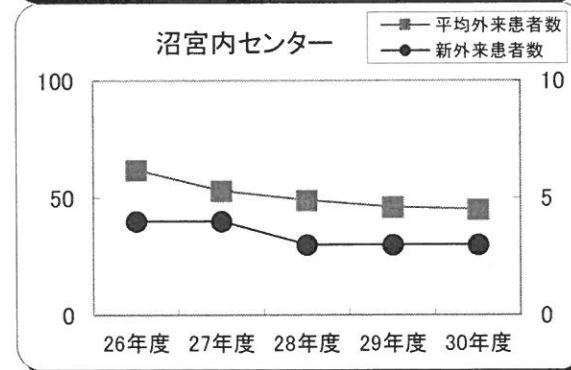
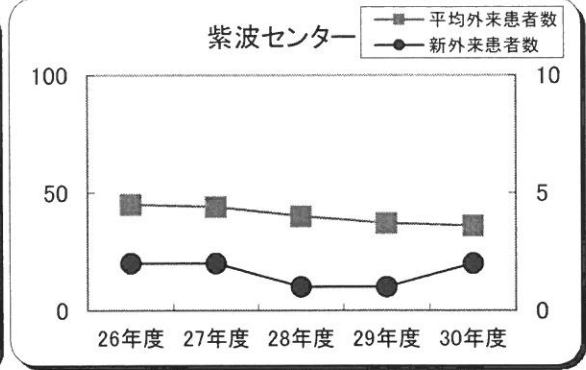
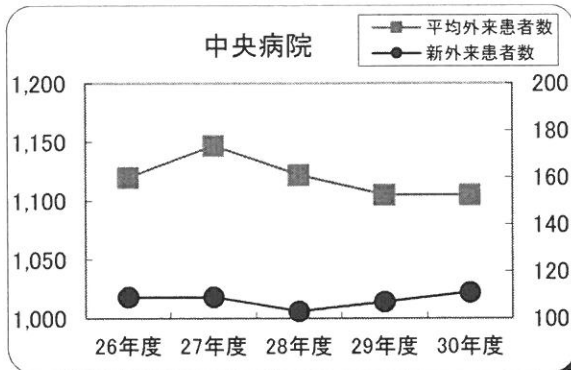
(単位:人)

【参考】

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
中央病院	109	109	103	107	111
紫波センター	2	2	1	1	2
沼宮内センター	4	4	3	3	3
盛岡医療圏	115	115	107	111	116
県立病院全体	795	764	726	706	680

区分	元.11月累計
中央病院	118
紫波センター	2
沼宮内センター	4
盛岡医療圏	123
県立病院全体	667

(グラフ単位:人)



(5) 紹介率・逆紹介率の推移

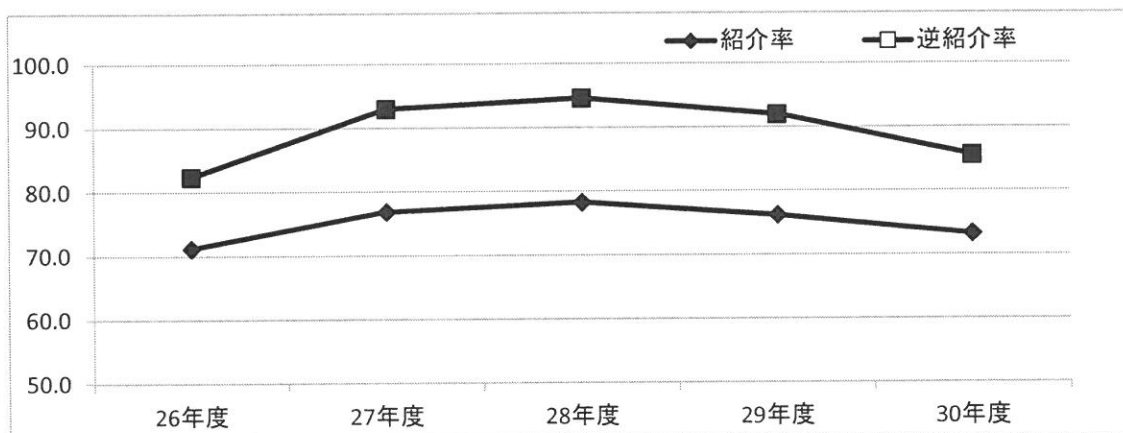
紹介率・逆紹介率の推移（中央病院）

（単位：％）

【参考】

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
紹介率	71.2	76.9	78.3	76.2	73.3
逆紹介率	82.4	93.0	94.6	92.0	85.6

区分	元.11月累計
紹介率	73.8
逆紹介率	83.2



4 盛岡保健医療圏内県立病院群の経営収支の推移

(単位:千円)

区 分	平成30年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	24,118,121	2,042,222	22,701,330	1,416,791	10,387,802
紫波センター	156,850	94,482	156,067	783	△ 3,704,640
沼宮内センター	264,020	87,938	277,426	△ 13,406	△ 1,167,857
盛岡医療圏	24,538,991	2,224,642	23,134,823	1,404,168	5,515,305
県立病院全体	107,146,408	15,540,825	108,507,436	△ 1,361,028	△ 47,835,217

(単位:千円)

区 分	平成29年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	23,457,669	2,154,357	21,456,447	2,001,222	8,971,011
紫波センター	142,024	78,996	160,748	△ 18,724	△ 3,705,423
沼宮内センター	266,848	84,612	279,109	△ 12,261	△ 1,154,451
盛岡医療圏	23,866,541	2,317,965	21,896,304	1,970,237	4,111,137
県立病院全体	103,995,855	15,261,043	104,490,636	△ 494,781	△ 46,474,189

(単位:千円)

区 分	平成28年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	23,084,216	2,106,775	21,395,444	1,688,772	6,969,789
紫波センター	149,351	84,975	176,899	△ 27,548	△ 3,686,699
沼宮内センター	309,727	131,350	278,799	30,928	△ 1,142,190
盛岡医療圏	23,543,296	2,323,100	21,851,143	1,692,153	2,140,901
県立病院全体	103,095,975	14,786,315	103,930,602	△ 834,627	△ 45,979,408

(単位:千円)

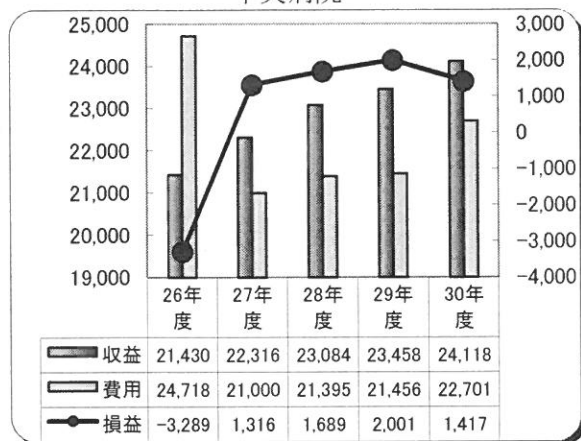
区 分	平成27年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	22,315,905	1,779,834	20,999,992	1,315,913	5,281,017
紫波センター	155,087	82,607	170,029	△ 14,942	△ 3,659,151
沼宮内センター	350,111	122,434	319,981	30,130	△ 1,173,118
盛岡医療圏	22,821,103	1,984,875	21,490,002	1,331,101	448,748
県立病院全体	100,708,910	13,547,374	102,083,303	△ 1,374,393	△ 45,144,781

(単位:千円)

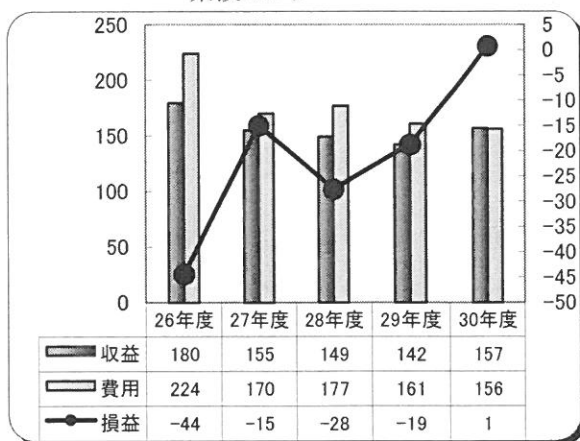
区 分	平成26年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	21,429,657	1,835,376	24,718,292	△ 3,288,635	3,965,104
紫波病院	179,670	107,142	224,026	△ 44,356	△ 3,644,209
沼宮内センター	476,927	172,034	393,098	83,829	△ 1,203,248
盛岡医療圏	22,086,254	2,114,552	25,335,417	△ 3,249,163	△ 882,353
県立病院全体	100,245,448	14,301,607	127,611,670	△ 27,366,222	△ 43,770,388

(グラフ単位: 百万円)

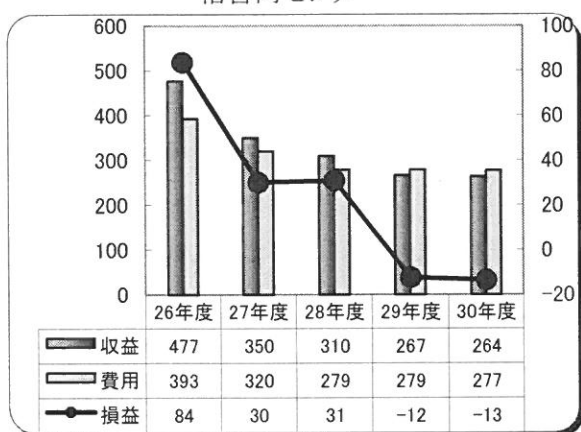
中央病院



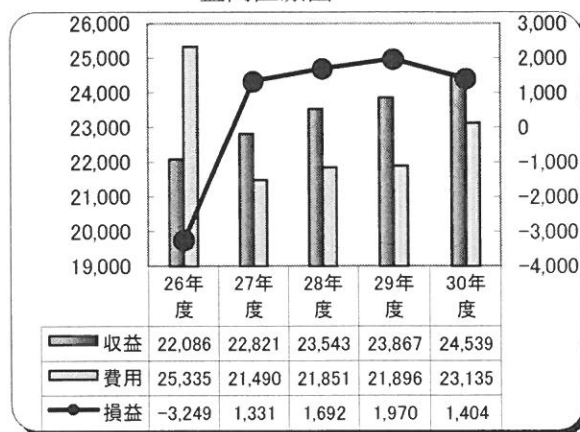
紫波センター



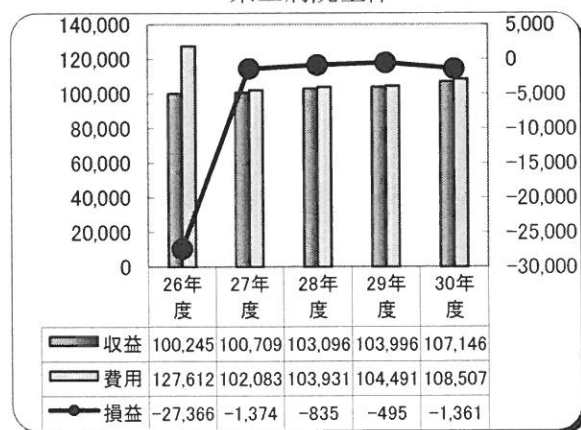
沼宮内センター



盛岡医療圏



県立病院全体



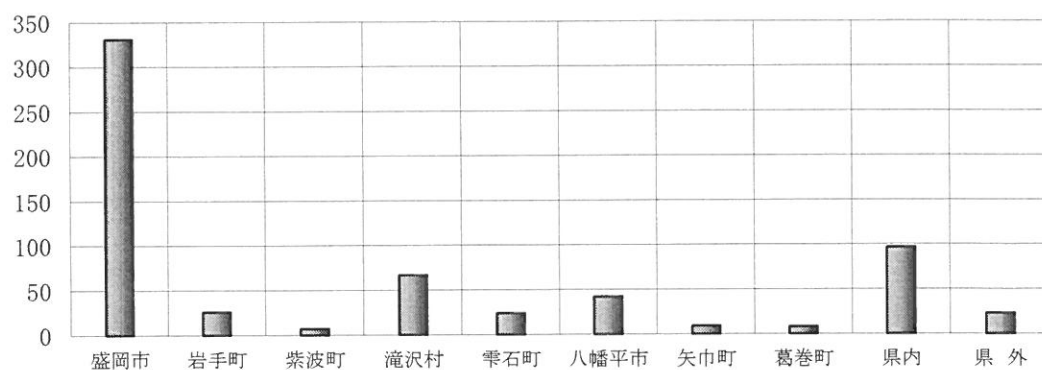
5 盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況

令和元年11月1日現在患者数

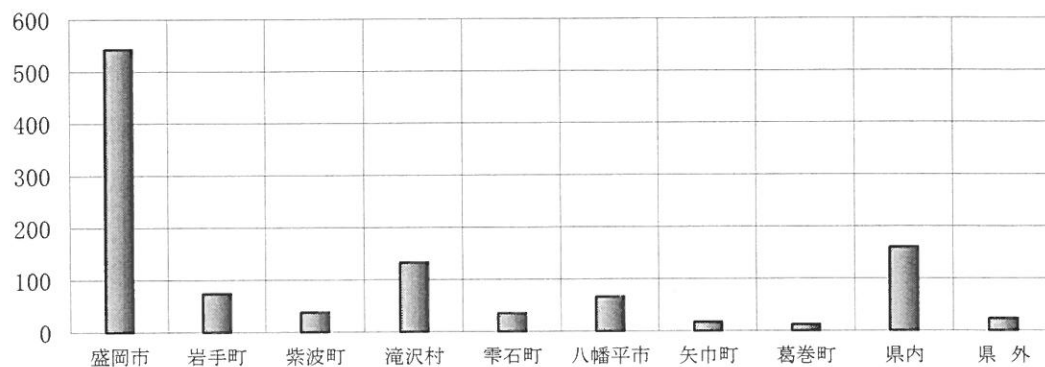
(単位:人)

区分	入院				外来				人口千人当たり患者数	
	中央 病院	紫波 セン ター	沼宮内 セン ター	合計	中央 病院	紫波 セン ター	沼宮内 セン ター	合計	入院	外来
盛岡市	331	0	0	331	542	0	1	543	34	37
岩手町	26	0	0	26	37	0	37	74	62	118
紫波町	7	0	0	7	16	22	0	38	7	24
滝沢市	67	0	0	67	133	0	0	133	36	48
雫石町	24	0	0	24	35	0	0	35	45	44
八幡平市	42	0	0	42	66	0	0	66	52	54
矢巾町	9	0	0	9	17	0	0	17	10	12
葛巻町	8	0	0	8	12	0	0	12	42	42
県内	97	0	0	97	159	1	0	160	4	4
県外	23	0	0	23	23	0	0	23	0	0
合 計	634	0	0	634	1,040	23	38	1,101		

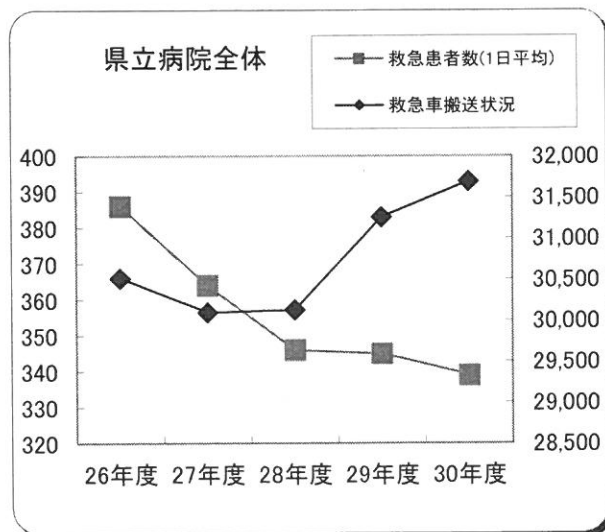
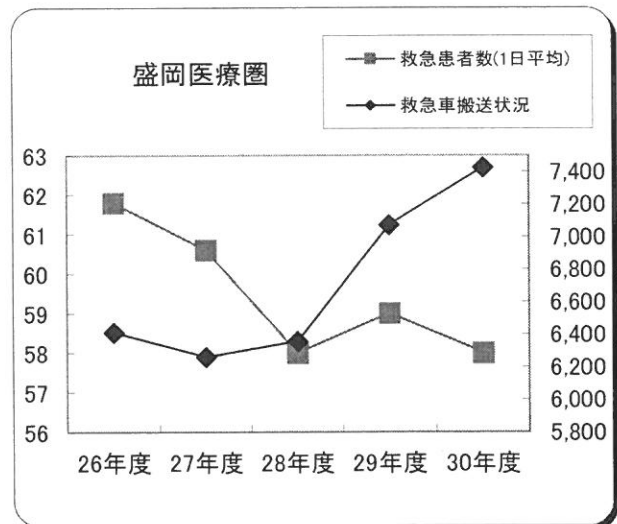
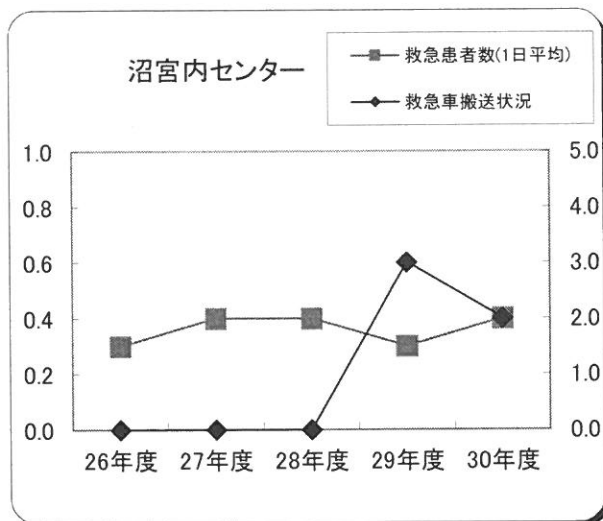
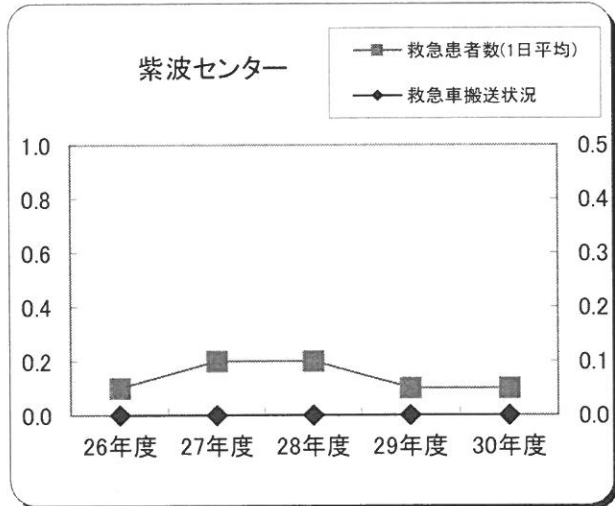
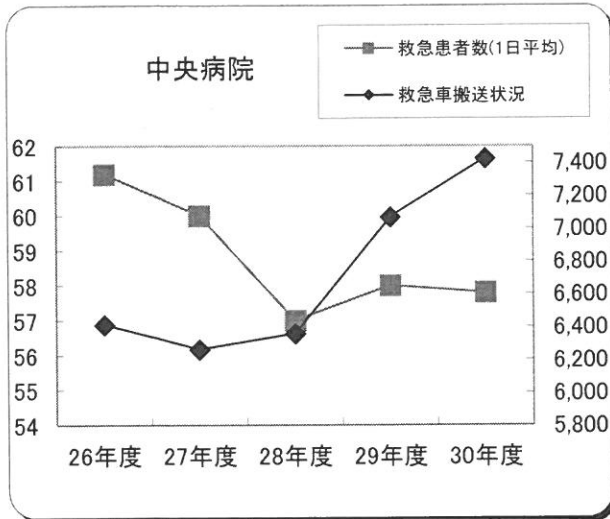
盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況(入院)



盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況(外来)



(グラフ単位:人)



2019年度岩手県立中央病院事業運営方針

Advanced Medicine by All staffs Along the wish of patients

—新中央病院経営5カ年計画— 2019年度～2023年度 (計画初年度)

【目的】 高度急性期医療を推進し、県民に信頼される病院

【役割】 県立病院のセンター病院として県民医療の安定的供給に向けた基盤の整備

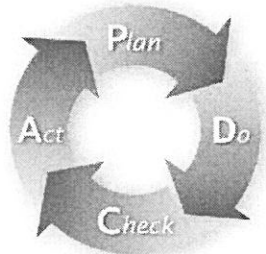
【行動指針】 良質な医療の提供、次世代医療人の育成、地域医療への貢献、救急医療の充実、災害医療の体制整備、健全で効率的な病院運営、魅力ある職場環境整備

☆ 2019 年度最重点取組事項

- 1 高度急性期医療・専門医療の推進
- 2 社会構造変化に対応できる救急体制整備
- 3 県内地域医療への戦略的貢献
- 4 当院の高度先進機能を発揮する観点での地域連携推進
- 5 院内コミュニケーションの改善(より風通しのよい組織)
- 6 働きたくなる職場環境への改善

※ 特別取組事業

- ・ ハード新築・改修の対応
(SCU、無菌室、救急室、手術室、ヘリポート)
- ・ 患者家族の思いに沿えるコミュニケーションと意思決定支援体制強化
- ・ さらに強力な地域連携体制構築
- ・ 院内コミュニケーション環境改善による効率的病院運営
- ・ 透析室改修準備の本格化



将来の医療提供体制変革への対応

2019年度 岩手県立中央病院重点取組事項 一覧

区分	重点取組事項
1	良質な医療の提供
	(1)高度急性期医療・専門医療の推進 ○5疾病5事業を中心とした医療機能の充実 ・SCU設置・活用 ・ハイブリット手術室の整備 ・腎機能障害患者の急性期医療増加に対応する透析室の整備 ・腎移植を見据えた腎不全医療の推進 ○がん診療連携拠点病院としての機能の充実 ・無菌室の増床 ・ACPの普及努力 ・ロボット手術の導入準備 ○術後回復促進策の取り組み ・鎮痛、リハビリテーション、栄養の連携強化による回復促進 ○臨床研究・治験支援体制整備 ・専門部署の設置、薬剤部の人員構想 ○遠伝外来の体制整備 ※高度医療機器の更新整備(31年更新機器の具体化、選定) (2)多職種チーム医療の推進 ○専門医療チームの活動の推進 ○多職種幹部ミーティングの設置 (3)患者・家族の思いに沿う体制強化 ○ACPの推進・意思決定支援体制の検討 ○看護師だけでなく臨床倫理カンファランス活動の推進 ・身体抑制回避の具体的手順の検討 ○メディエーションスキルの習得と普及 ○音楽療法導入推進 ○病院ホームページ活用による有効な情報提供 (4)安全・安心な医療の提供 ○医療安全対策・感染管理対策の維持継続 ・上記に対する事務部門の体制整備強化 ○医療事故調査制度活用による有害事象の再発防止 (5)地域連携の強化 ○入退院支援センターの機能拡張と強化 ○ステラネット普及による医療情報流通の高速効率化推進 ○病・病連携の推進 ・入院患者の早期転院推進 ○病・診連携の推進 ・再来患者の適性化 ○医科・歯科連携の推進 ・ステラネットの活用推進 ○地域包括ケアシステムへの参画 ・介護機関との情報交換強化

2019年度 岩手県立中央病院重点取組事項 一覧

区分	重点取組事項
2	次世代医療人の育成 (1) 医師確保に向けた取り組み ○ 初期研修医募集枠の拡大 ○ 専攻医獲得戦略の検討 ・ 専門分野に専念し十分な専門性熟達を得られる体制整備 ○ ベテラン医師の確保 ・ 病院総合診療医としてのキャリアモデル構築 ・ ベテラン医師向け再教育企画の推進 (2) 各職域における計画的な人材育成推進 ○ 各職域のキャリアデザインによる専門資格職員の計画的育成と支援 ○ 特定行為に係る看護師の計画的育成支援 ○ 病院の機能及び医療ニーズに応じた各職域スペシャリストの育成支援 ・ 技術の習得・技能の向上・資格の取得支援 ○ BLSなど職員全体に対するシュミレーション教育の強化 (3) 各分野における先駆的取組施設との交流推進 ○ 沖縄中部病院(離島医療、救急)、上尾中央病院(クラーク)等
3	地域医療への貢献 (1) 医師派遣依頼への対応 ○ 県立病院間支援、へき地医療機関支援 (2) 診療機器の有効利用促進 ○ 画像提供、遠隔病理、機器共同利用 (3) 地域医療連携協議会の開催 ○ 課題の吸い上げと情報提供
4	救急医療の充実 (1) 岩手医科大学病院の矢巾移転による救急患者増加に対する対策 ○ 盛岡圏域における救急体制の構築 (2) 総合診療科の有効的運用体制の確立 (3) ヘリポートの円滑運用 (4) 救急室改修工事期間中の円滑な救急医療体制確保 (5) 救急医療に関する教育活動と専門医養成
5	災害医療の体制整備 (1) DMAT隊員の計画的養成推進 (2) BCP(事業継続計画)を活用した取り組み (3) 多数の傷病者を想定した災害訓練等の実行 (4) CBRNE災害への準備

2019年度 岩手県立中央病院重点取組事項 一覧

区分	重点取組事項
6	健全で効率的な病院運営 (1)収益の確保と費用の縮減 ○DPC特定病院群の維持と係数の向上努力の継続 ○上位施設基準の取得準備 ○次期診療報酬改定に向けた情報収集と事前準備 ○消費税増税に向けた情報収集と準備 (2)院内の情報管理体制の強化 ○会議体の役割分担明確化と構成の見直し ○院内情報伝達手段のルール見直しによる効率化 ○DPCデータによる経営情報分析体制の維持、推進 ○電子カルテデータ活用による退院患者データベース構築と活用推進 ○ステラネット(地域情報通信技術)の活用による情報伝達の効率化 ○診療録監査の継続
7	魅力ある職場環境整備 (1)職員が働きたくなる環境整備推進 ○職員のやりがい発見支援 ・自分自身の存在意義を感じることのできる工夫 ○定年後人材、ボランティアが働きたくなる環境整備 ○職員のスキルアップに対する時間と資金に関する支援 ○図書室スペースの有効利用に向けた改修の検討 (2)健康管理体制の充実 ○産業医及び臨床心理士等が一体となったメンタル健康管理及びサポート推進 (3)職員の業務負担軽減推進 ○クラークの運営体制整備 ・業務の整理、教育体制の確立と計画的増員 ○業務の重複整理による簡素化、効率化推進 ○当院の高度先進機能を発揮する観点での地域連携推進

※新規(改定)部分は、太字朱書き下線で表示

平成31年度岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センター事業運営方針

【基本理念】

私たちは、地域の皆様の健康を守るため心の通った満足度の高い医療の提供に努めます。

【基本方針】

- 1 私たちは、より良い医療を安全に提供しよう努めます。
- 2 私たちは、プライバシーや人権を配慮いたします。
- 3 私たちは、地域診療所として他の医療機関や保健・福祉施設と連携し良質な医療の提供を受けられる診療所をめざします。
- 4 私たちは、不断の学習・研鑽に努め、科学的根拠に基づいた質の高い医療をめざします。

重点事項	展開方法
I 良質な医療が提供できる環境の整備 1 医療安全対策の推進 2 医療の質の向上 3 地域との協働による診療所運営	・医療事故防止、院内感染予防対策の徹底 ・インシデントレポートの分析と対策の徹底 ・各種マニュアルの遵守 ・「職業倫理」及び「患者様の権利と責務」の遵守 ・インフォームド・コンセントの徹底 ・個人情報保護法の遵守 ・精度管理の徹底と評価、分析(臨床検査科・診療放射科) ・保健、医療、福祉の連携による公衆衛生活動等の推進 ・地域住民の生活習慣病予防対策への積極的参加
II 診療体制の充実 1 医師の確保	・標榜診療科の継続と充実 ・県立中央病院との連携推進による特定外来診療等の継続と充実(小児科、脳神経外科、皮膚科、整形外科、総合診療科応援) ・町内の医療機関との連携強化
III 効率的な医療提供体制の構築 1 運営体制の効率化と適正化 2 費用の抑制 3 収益の確保 4 未収金対策	・圏域の一体的運営の円滑化・効率化の推進 ・新しい経営計画への取り組み ・薬品、診療材料等の整理統一及び在庫管理の徹底 ・超過勤務時間数の縮減 ・経営目標の設定と管理 ・診療報酬の適正算定 ・査定減対策と再審査請求の促進 ・県立中央病院との連携による定期的な未収金回収 ・関係部門連携による未収金の発生防止
IV 職員の資質と満足度の向上 1 人づくり 2 働きやすい職場環境	・各種研修会への職員派遣 ・各部門ごとの積極的な職場研修会の推進 ・働きやすい職場環境づくりへの取り組み ・職員全員参加によるミーティングの開催(委託職員含む)

平成31年度 紫波地域診療センター事業運営方針

【基本理念】

私たちは、患者さんのプライバシーを守り、患者さんに平等な医療の提供を行い、地域の皆様から信頼されるように努めます。

【基本方針】

1. 地域に密着した良質な医療サービスの提供を行います。
2. 安心して治療を受けられる環境を整備します。
3. 適切な医療情報の提供を行います。
4. 職員は信頼しあい、能力と個性を発揮し、「紫波地域診療センター」の発展と互いの向上に努めます。

重 点 項 目	展 開 方 向	担当部門
I 県立病院・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進		
	① 県立病院群の一体的運営・業務集約化の推進 ・圏域内における一体的な運営の推進 ・圏域を越えた医師派遣などの連携強化	全部門
	② 地域の状況に基づいた役割と機能の推進 ・地域包括ケアを踏まえた医療提供体制の改革への対応	全部門
	③ 地域の医療機関・介護施設等との連携 ・地域包括ケアシステム構築への参画	全部門
	④ 地域との協働による運営 ・ホームページや紫波町広報等による情報発信 ・地域懇談会の開催	全部門
II 良質な医療を提供できる環境の整備		
	① 医療安全対策の推進 ・チェックリスト・マニュアルの活用 ・インシデントレポートの提出推進と複数確認を行う 声だしチェック行為の励行 ・事故防止と原因究明意識の高揚	全部門
	② 感染対策の推進	全部門
	③ 患者満足度の向上 ・患者満足度調査の実施と結果の共有、改善の働きかけ	全部門
III 医師不足解消と医師の負担軽減に向けた取り組みの推進		
	① 圏域内病診連携、診診連携の推進 ・中央病院、盛岡日赤、岩手医大等との連携 ・紫波郡医師会との連携	医局
	② 他圏域への診療応援実施	医局
IV 職員の資質向上と人員の重点配置		
	① 各種学会・研修会の積極的機会提供	全部門
	② 職場研修の推進	全部門
	③ コミュニケーションの円滑化	全部門
V 安定した経営基盤の確立		
	① 収支計画の作成、進捗管理	事務局
	② 業務の見直しと効率化	全部門
	③ 計画的な機器の整備	全部門
	④ 査定防止への取組徹底と再審査請求の促進	事務・医局
	⑤ 予防接種や健康診断の積極的な受入れ	全部門
	⑥ 診療報酬の適正算定	事務局
	⑦ 診療材料の適正管理	全部門
	⑧ 省エネ推進による電気、重油の適正使用	全部門

<参考>

平成30年度岩手県立病院等事業会計決算概要

損益計算書前年度比較

(単位:千円、%)

年 度 科 目	平成30年度			平成29年度			比較増減		摘 要	
	金 額	構成比	費用 医収	金 額	構成比	費用 医収	金 額 C=A-B	増減率 C/B		
1 医 業 収 益	90,373,094	84.3	—	88,512,561	85.1	—	1,860,533	2.1	1 年間患者数 (人)	
(1) 入院収益	57,104,002	53.3	—	55,588,425	53.5	—	1,515,577	2.7	区 分	入 院 外 来
(2) 外来収益	26,964,621	25.2	—	26,765,315	25.7	—	199,306	0.7	平成30年度 a	1,209,513
小 計	84,068,622	78.5	—	82,353,740	79.2	—	1,714,882	2.1	平成29年度 b	1,226,812
	6,304,471	5.9	—	6,158,821	5.9	—	145,650	2.4	比較 a-b(c)	△17,299
(3) その他医療収益	16,455,009	15.4	—	15,483,294	14.9	—	971,715	6.3	増減 c/b	△1.4%
2 医 業 外 収 益	318,305	0.3	—	—	0.0	—	318,305	皆増	2 一日平均患者数 (人)	
3 特 別 利 益	107,146,408	100.0	—	103,995,855	100.0	—	3,150,553	3.0	区 分	入 院 外 来
収 益 合 計	(15,540,825)	(14.5)	—	(15,261,043)	(14.7)	—	(279,782)	(1.8)	平成30年度 a	3,314
(うち一般会計繰入金)	100,725,279	92.8	111.5	98,287,631	94.1	111.0	2,437,648	2.5	平成29年度 b	3,361
1 医 業 費 用	56,662,879	52.2	62.7	55,949,549	53.5	63.2	713,330	1.3	比較 a-b(c)	△181
(1) 給 与 費	23,235,567	21.4	25.7	23,016,757	22.0	26.0	218,810	1.0	増減 c/b	△1.4%
(2) 材 料 費	14,021,534	12.9	15.5	13,549,842	13.0	15.3	471,692	3.5	3 患者一人一日当り平均収益 (円)	
(3) 経 費	174	0.0	0.0	70	0.0	0.0	104	148.6	区 分	入 院 外 来
(4) 交 際 費	6,176,287	5.7	6.8	5,203,935	5.0	5.9	972,352	18.7	平成30年度 a	47,214
(5) 減価償却費	196,139	0.2	0.2	135,963	0.1	0.2	60,176	44.3	平成29年度 b	45,313
(6) 資産減耗費	432,699	0.4	0.5	431,515	0.4	0.5	1,184	0.3	比較 a-b(c)	1,901
(7) 研究研修費	5,493,073	5.1	6.1	5,627,395	5.4	6.4	△134,322	△2.4	増減 c/b	4.2%
2 医 業 外 費 用	(1,742,114)	(1.6)	(1.9)	(1,896,199)	(1.8)	(2.1)	(△154,085)	(△8.1)	4 病床利用率(稼働病床) (%)	
(うち支払利息)	2,289,084	2.1	2.5	575,610	0.6	0.7	1,713,474	297.7	区 分	一 般 療 養 結 核 精 神 合 計
3 特 別 損 失	108,507,436	100.0	120.1	104,490,636	100.0	118.1	4,016,800	3.8	平成30年度 a	76.5
費 用 合 計	△10,352,185	—	—	△9,775,070	—	—	△577,115	△5.9	平成29年度 b	75.9
医 業 損 益	609,751	—	—	80,829	—	—	528,922	654.4	比較増減 a-b	0.6
経 常 損 益	△1,361,028	—	—	△494,781	—	—	△866,247	△175.1	5 診療実日数 (日)	
純 損 益	47,835,217	—	—	46,474,189	—	—	—	—	区 分	入 院 外 来
年度末累積欠損金	89.7%	—	—	90.1%	—	—	△0.4%	—	平成30年度 a	365
医 業 収 支 比 率	100.6%	—	—	100.1%	—	—	0.5%	—	平成29年度 b	365
経 常 収 支 比 率	98.7%	—	—	99.5%	—	—	△0.8%	—	比較増減 a-b	0
総 収 支 比 率	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0

県立病院運営協議会等要綱

(協議会の設置)

第1条 二次保健医療圏内の県立の病院の円滑な運営を図り、もって地域住民の医療及び保健衛生の向上に寄与するため、別表に掲げる病院に県立病院運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について、協議会の病院の長(以下「病院長」という。)の諮問に応じ、又は建議することができる。

- (1) 二次保健医療圏内の県立の病院の円滑な運営に必要な事項
- (2) 保健衛生活動の協力に関する事項
- (3) その他病院長が必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会は、原則として委員25人以内をもって組織する。

2 委員は、市町村、関係行政機関、社会保険団体、医療関係団体、社会福祉関係団体、学校、事業所、婦人団体青年団体等の代表者及び学識経験者のうちから医療局長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、病院長が招集する。

2 会議は、定例会及び臨時会とし、定例会は年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 会議は、必要に応じて他の協議会と合同で開催することができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、病院において処理する。

(地域懇談会)

第8条 県立の病院の運営に関し、地域住民から意見、提言等を得て病院運営上の参考とするため、病院に県立病院地域懇談会を置く。

2 県立病院地域懇談会の組織及び運営に関し必要な事項は、病院の長が定める。

附 則

この規程は、昭和46年4月12日から施行する。

附 則

この規程は、昭和57年1月16日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

別表 (第1条関係)

病院
岩手県立中央病院
岩手県立宮古病院
岩手県立大船渡病院
岩手県立胆沢病院
岩手県立中部病院
岩手県立久慈病院
岩手県立磐井病院
岩手県立釜石病院
岩手県立二戸病院